平成２２年７月２７日

各　　位

会 社 名　ｓａｎｔｅｃ株式会社
代表者名　代表取締役社長　鄭 台鎬
（コード：　大証ヘラクレス　Ｓ　6777）
問合せ先　業務部管理グループ長 水島 大介
（TEL．0568－79－3535）

ＮＥＤＯ「イノベーション推進事業」に係る助成事業への採択決定に関するお知らせ

このたび、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（略称「ＮＥＤＯ」）の平成 22 年度「イノベーション推進事業」に係る助成事業において、当社が提案・応募しておりました「ＬＣＯＳプロセッサを用いた高速大容量光スイッチの実用化開発」が採択されることが決定いたしましたので、お知らせいたします。

同助成事業は、民間企業や大学等の優れた技術シーズの実用化開発に対し助成を行い、関連する技術分野における国際競争力の向上や新規産業の創出等を図ることを目的としたものであります。

記

１．採択された助成事業の概要

日本が世界をリードする液晶ディスプレイ技術と、信頼性に定評のある国産光伝送技術を融合することで、ＬＣＯＳ(注1)プロセッサを用いたテレコム品質(注2)の光ルータ・スイッチを実用化することを目指します。また、高速信号処理のため、実現すれば世界初となるブルー相液晶搭載ＬＣＯＳの研究を行ないます。

従前の光スイッチは環境負荷・コスト・信頼性において、それぞれ課題を抱えております。一方で、電子ルータや電子スイッチでは処理能力に限界があり、今後ますます発達する高速大容量通信のボトルネックとなることが懸念されていることから、光スイッチの抱える問題点の早期解消が強く求められています。

本開発では、「高精細ＬＣＯＳプロセッサと計算機合成ホログラムによる２次元ビーム偏向制御技術の確立」「ＬＣＯＳの高速化によるスイッチング処理能力向上」という二つのテーマに取り組み、高性能・高信頼性、かつ、省エネルギー性能に優れた次世代の光ルータ・スイッチを、世界に先駆け、実現することを目指します。

注１　ＬＣＯＳ
Liquid Crystal On Silicon。シリコン基板上に反射型液晶を形成する技術。

注２　テレコム品質
インターネット等のベストエフォート型通信とは異なり、固定電話網や携帯電話網では高い品質・安全性・安定性が要求されます。これらのサービスの要求に堪える品質を指します。

２．助成の内容

助成の期間	平成 22 年 8 月 1 日から平成 24 年 2 月 29 日まで
助成内容	同事業に計上された費用の３分の２以内
助成額	確定しておりません（各年度１億円程度を上限）

３．今後の見通しと当社業績に与える影響

本件に係る助成金の額および、本件開発の成果が当社グループの業績に与える影響は調査中でございます。これらについては明らかとなり次第、発表させていただきます。

４．ご参考

独立行政法人　新エネルギー・産業技術総合開発機構による発表内容は、以下をご覧ください。

平成 22 年度「イノベーション推進事業（産業技術実用化開発助成事業、研究開発型ベンチャー技術開発助成事業、次世代戦略技術実用化開発助成事業）」に係る助成事業の決定について

https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/CA/nedokoubo.2010-07-15.9497446996/

以上